

福祉環境委員会記録

令和6年5月8日（水）
15時14分～15時41分
第2委員会室

【委員】三浦委員長、肥後副委員長、
柳楽委員、串崎委員、上野委員、布施委員、州神委員
【議長・委員外議員】
【事務局】久保田書記

議題

- 1 取組課題について（委員間で協議）
- 2 今年度委員会の進め方(スケジュール確認等)について（委員間で協議）
- 3 地域井戸端会について（委員間で協議）
- 4 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[15 時 14 分 開議]

○三浦委員長

ただいまから福祉環境委員会を開会する。出席委員は6名で定足数に達している。川神委員からは公務のため欠席の届けが出されている。レジュメに沿って進めていく。

1 取組課題について（委員間で協議）

○三浦委員長

当委員会における取組課題については、先の委員会において「先進的な取組による健康寿命の延伸」「安心して暮らせる医療体制の構築」「中山間地におけるエネルギーシフト」をテーマに進める方針としているが、取組課題の内容を委員会で決定したときには、委員長から議長へ文書で通知することになっている。

本日、テーマや具体的な調査方法について協議し、正式に決定したいと考えている。皆の意見を伺いたいがか。

具体的な調査方法とは、今後どのように進めていくかということか。

○久保田書記

はい。

○布施委員

今委員長が言われた取組課題は、浜田市にとって重要だと思うので、そのまま取り組んでいけたらと思う。視察先にもそういうことが共通課題としてあるように思う。その方向で調整をお願いしたい。

○三浦委員長

布施委員から、ほかの自治体への行政視察等も含めて、そういう取組を調査してはどうかという提案があった。加えて、今度予定されている地域井戸端会では、環境について市民にお伺いを立ててみようとして委員会で決定しているので、そうした意見交換の場等を通じて市民からも、こういう課題に対する認識を調査し、必要に応じて関係機関に意見交換や行政視察、情報収集・研究を含めてまとめていく方向で進めていくてよろしいか。

（ 「はい」という声あり ）

ではそのように進めていきたい。また適宜、皆からも必要な取組だと思われることがあれば、ぜひ提案いただきたい。

それでは、先ほど述べた方法を主たる方法として議長へ通知したい。続いて視察先の候補を一覧にしている。6月定例会議の散会后、9月定例会議までのところで視察を実施したいと考えているが、そのようなスケジュールでよろしいか。

（ 「はい」という声あり ）

視察先について、一覧の中から皆の意見を伺いたいと思うがどうか。

○柳楽委員

以前からぜひ視察に行きたいと思っていた、医療M a a Sの長野県伊那市。ここをぜひお願いしたい。

○三浦委員長

ほかにはいかがか。医療M a a Sについては皆も関心が高く、先日も出雲へ伺ったが、引き続き調査研究してみようということで、先ほど柳楽委員から提案のあった伊那市を一つ候補として進めていってよろしいか。

○布施委員

今日、認知症人口が443万人に上るとの速報値が出た。高齢化社会になると認知症対策を早めにやることが大事だと思う。その周辺だと松本市が候補で「脳活ポイントプログラム」というのが載っている。

環境なら、候補の中にある長野県飯田市もあると思う。タイトなスケジュールになるかもしれないが、調整して委員会視察してはどうかと思うがいかがか。

○三浦委員長

布施委員からもあった、候補の中に長野県の自治体が数個あり、これらを中心に日程を組んでみる方向で進めさせてもらってよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのような形で行政視察を実施していきたい。後日、各視察先への質問事項の提出について、メールで依頼させていただく。事務局から作成の依頼があったら各期日までに提出をお願いします。各視察先への送付は、委員から提出された後に委員間で協議を行って質問事項の調整を行った後に、視察先へ送る段取りで進めたい。併せて報告書作成の確認などは、また役割分担していきたいと思うので、ご協力をよろしくをお願いします。

2 今年度委員会の進め方(スケジュール確認等)について (委員間で協議)

○三浦委員長

(以下、資料読み上げ)

取組課題についての協議などは、また委員会の間に必要に応じて予定していきたいと思うので、ご協力のほどよろしくをお願いします。

所管事務調査について、委員会改選から1年となる11月を目標に提言書のような形でまとめて議長に報告するといったスケジュールで考えていきたいが、よろしいか。

(「はい」という声あり)

では、11月をめどに取組課題を進めていきたい。

3 地域井戸端会について (委員間で協議)

○三浦委員長

11日土曜日から地域井戸端会が始まるが、委員会の報告事項について事前に情報共有を図っておきたいと思う。資料を見てほしい。各地域井戸端会で福祉環境委員会

からトピックスや所管事務調査のテーマ等について、今どのようなことに取り組んでいるかを皆から簡単にお話していただくことになっている。そういった意味で、このトピックスは先般発行された議会だよりの予算のところ、主だった事業ということで当委員会が所管する事業三つが紹介されており、それをここに載せている。これは特徴的なトピックスということでご紹介いただければと思う。

それから所管事務調査のテーマについては先ほど確認させてもらった、健康福祉分野においては「先進的な取組による健康寿命の延伸」「安心して暮らせる医療体制の構築」ということを調査研究していくということで、その下段に医療MaaSの可能性や総合診療医の確保など、これまで議論の中に出てきたような小テーマのようなものも書いているので、参考にしてもらえればと思う。

二つ目の環境においては、「中山間地におけるエネルギーシフト」ということで、これも下段には、中山間地におけるガソリンスタンド運営が厳しい状況にあるというのは皆も承知していると思う。そういったことも含めて中山間地におけるエネルギーの問題のようなところに少しフォーカスして研究していくことになっているので、こういったところを紹介いただければと思う。その他意見はあるか。

○串崎委員

あいさつでこれを中心に話をせよ、ということか。

○三浦委員長

はい。

○串崎委員

3分間くらいだと思うので、これを言う。地域井戸端会のちょうど委員長の顔写真が載ったチラシを持って来たのだが、ここに書いてある。「市の環境施策」という文言があるが、市の環境施策といえ、先般すごく厚い冊子を見たがそのことだろうか。環境施策について問われたときには、どのように答えれば良いか。

○三浦委員長

市の環境施策というのは、当委員会でこれまで環境をテーマに議論を深めていったことが少なかったということを委員会内で共有していたと思う。市民が浜田市の環境施策や環境に関するいろいろな取組についてどのように思っておられるか、地域井戸端会の場を通じて聞いてみようというのが今回の趣旨なので、あの計画云々に対して何かを聞くのではなく、全般的に市民から環境に対する取組を何かされているか、そういうものにどう関心を持たれているかをワークショップ内で聞いていただければと考えている。

○布施委員

エネルギーについて施策などを聞かれた際には、市がやっている、一つは公共施設の上にソーラーを付けようとか、ゼロカーボンシティのために家庭では温度を下げる取組など、そういったことを推進しながら市はそういう施策を取る。皆はそれに対してどう思っておられるか、どのように取り組んでおられるか。そういうことを話題に上げるのも一つだと思う。

○三浦委員長

太陽光パネル設置補助や、蓄電池設置補助など、環境対策の施策がいろいろあると思うが、それに限らず全般的に少し幅広なテーマではあるが、日々の地域活動の中で何か環境に配慮するような取組をされているかとか、市にもう少しくいった施策を推進してほしいとか、いろいろとあると思うのでそれぞれ聞いて、市民から質問もあるかもしれないので、市の中でどのような施策がされているかなどは事前に記入してもらって地域井戸端会に臨んでもらうのがよろしいかと思う。

○串崎委員

聞くのは簡単だが向こうから聞かれたときに、勉強しておかないと大変だと思う。以前、浜田市地球温暖化対策実行計画の説明があった。目標達成2030年度のK P Iとかのことを言われたときに、そのことを答えても良いか。太陽光発電が設置可能な市の公共施設の設置割合は50%など。

○三浦委員長

具体的に市民から、地球温暖化対策実行計画について細かいところまでは地域井戸端会では聞かれないだろう。

○串崎委員

市は今、これとこれとこれとこういうことをやっているのだという箇条書きでもあるなら、それを示してもらったら話せるかと思った。

○布施委員

串崎委員、それは3月予算の福祉環境委員会関連で、重点項目などが示してあるのだから、自分でそれをお気に入りに入れて、質問されたらそこを答えれば。

○串崎委員

自分でやれと言われればやろうと思うが、一応書いてあるので市の環境施策など何をやっているのかと言われたときに、これを重点的にやっているということを3点くらい言えるように、思うことが特にあればそれを出しておいてもらえば楽かなという気持ちがあった。

○三浦委員長

そこは質問される方も特にどういった部分に関心があるかは異なると思うので、適宜各議員に、地球温暖化対策実行計画なども参考にしてもらいながら回答するといったように対応いただければと思う。

○柳楽委員

市がどういう取組をこれからやっていくかが示された、まあまあ分かりやすい資料があった。それを参考にしてもらったら分かりやすいかもしれない。

○布施委員

市報は要約して書いてあるのでそれを持っていく。聞かれたら数字までは言わず、こういう取組をやっていると出ている。議員だから全部知っているわけではないが、地域井戸端会だから議員も勉強する場合がある。それについては全部答えられないにしても、やはり時間をもらって探すといった努力をしながらやれば良い。

○柳楽委員

その資料を基に説明させてもらって、終わった後、市は個人に対してどういう補助制度をしているのかといった質問をされた人もいた。そういうところも市民とすると、実際に自分たちに環境面でこういったような再生可能エネルギー導入についての補助を出してくれているのかということ、もしかしたら知りたい人もいるのかと思うので、そういうものは分かるように用意しておいたほうが良い。

○肥後副委員長

浜田市役所のホームページから検索すれば恐らく出てくる。

○三浦委員長

肥後副委員長が送ってくれた地球温暖化対策実行計画の中にある「本市の取組」の中に、具体的な姿などが要約されて書かれている部分もあるので、こういってところに目を通してもらうなど。具体的に何をやっているのかを端的にまとめた資料を柳楽委員がご覧になったことがあると言われたので、それは事務局とも調べてみて、提供できるものは提供したい。一概に同じような質問が来るかは分からないので、幅広く現場で答えてもらうのがよろしいかと思う。

冒頭は委員会からの報告ということで、説明資料は先ほどのものでよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそちらを皆に活用してもらって、説明をお願いします。事務局から改めてLINE WORKSでお知らせしてもらおうと思うので、確認をよろしくをお願いします。資料についてもこちらで確認して、それも情報提供はさせてもらう。

地域井戸端会についてほかにあるか。

○布施委員

今日、議会広報広聴委員会が開かれたと思う。具体的なやり方は去年と変わらないと思うが、3人の中でリーダーや記録者がいる。参加人数によって各班に分かれるように進められるのか、最初から一つのグループでされるのか。それはそのときの判断か。

○三浦委員長

基本的には所管ごとにテーブルを設けるとなっているので、委員会ごとに分かれてもらい、テーブル単位でやるのだと思う。

○布施委員

記録者は一人と決まっているので、すごく難しい。

○串崎委員

15人くらい来れば3グループできるかもしれないが、10人程度ならせめて2グループくらいしか分けられないのでは。

○三浦委員長

去年もそれでやっている。

○布施委員

ほとんど一つのグループでやったように感じた。

○三浦委員長

そうだろうか。僕がいた班は複数のテーブルに分かれてやっていたが。

○布施委員

テーマ別に時間を区切って進めた。

○三浦委員長

それは人数に応じて臨機応変に現場で対応していただければ良いのではと思う。私も今は議会広報広聴委員会の正副委員長などではないため、情報共有はできるが対応については私の判断では指示できない。一応、議会広報広聴委員会フォルダに当日の流れという資料がある。

昨年度は会場で伺った意見を、宿題として持ち帰るものはメモして持ち帰ったが、今回はおおむね会場で出た意見をこちらが要約して持ち帰る形になっている。細かく議事録を取るようなことではないので、そこは各議員で対応いただければ良いと思う。付せんなども活用してもらって、参加者の発言をそれぞれ書いてもらったものが振り返りのメモになると思うので、そのようなやり方で良いと思う。大変な部分もあると思うがよろしく願います。

○布施委員

これは直接行く場合、そういう指示がまだ来てないが、政務活動費ではなく委員会活動として事故があったらその費用や燃料費も出るのか。

○久保田書記

議員派遣の扱いになる。

○布施委員

では自家用で車行っても良いのか。

○久保田書記

はい。

○三浦委員長

では地域井戸端会について、よろしく願います。

4 その他

○三浦委員長

皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では本日の議題は以上で終わりになる。福祉環境委員会はこれにて終了する。

[15 時 41 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員会委員長 三 浦 大 紀